

ラジオを聴いて、男女共同参画に触れよう！

はあもにいフレゼンツ 男女共同参画を知る・学ぶラジオ

男女共同参画社会の実現に向けて活動・活躍している団体や個人の紹介、はあもにいの講座講師へのインタビューなどをお届けしている、はあもにいフレゼンツのラジオ放送「クマモト・ウーマン」。毎週土曜日、RKKラジオで10時30分頃から約5分間お届けしていますが、10月からは番組改編に伴い、時間帯など変更になる予定です。詳しくは、はあもにいホームページをご確認ください。

9月26日の放送では、30年前の開館時に所管の婦人生活課職員として携わった前渕啓子元熊本市中央区長にこれまでを振り返るお話を伺います

(はあもにい通信5月号にもインタビュー掲載)。
これまでの放送分は、はあもにいのホームページから聞くことができます(視聴方法は下記参照)。中面で紹介している詩人の伊藤比呂美さんの朗読のほか、男女共同参画に関わる貴重なコメントが満載です。

ホームページの「クマモト・ウーマン」コンテンツ内、左側の一覧よりバックナンバーに飛ぶことができます(2012～2020) ⇨

音声は記事下部の▶(プレイヤー)をクリックしてください ↓

▶をクリックすると、放送内容が再生されます。

2020年度

- 6月22日放送 「メンズカレッジ」開講 熊本北オホ 菊池 一 朗 氏
- 6月15日放送 熊本市長の「熊本市の未来」講演 5/19 (土) 開演!
- 7月2日放送 「メンズカレッジ」の魅力を語る 会社 熊本市長 菊池 一 朗 氏
- 7月16日放送 「メンズカレッジ」の魅力を語る 会社 熊本市長 菊池 一 朗 氏
- 6月27日放送 男性・若者の悩み 熊本市長 菊池 一 朗 氏
- 6月20日放送 熊本市長 菊池 一 朗 氏
- 5月23日放送 ジェンダー

毎週土曜日 10:30～RKK

はあもにいフレゼンツ「クマモト・ウーマン」この番組は、すべての人が豊かしく生きる社会を築く熊本市男女共同参画センターはあもにいの提供による放送(RKK)ラジオで放送しています。

誰もがともにいきいきと、個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現に向けて活動・活躍している団体や個人の紹介、はあもにいの講師陣「クマモト・ウーマン」の講師へのインタビューなど、第1回と第4回の土曜日に開催しています。

※放送内容をご確認ください。

相談窓口について

相談は無料。どなたでもご利用いただけます。各相談では、専門の相談員がお話を伺います。秘密は固く守られます。

【男女共同参画課相談室】(熊本市役所内)

専 門 相 談		
専門相談 面談予約専用電話	月曜日～金曜日 10:00～16:00	096-352-2587
	内 容	相談日時
心理相談	生き方、心まつわる様々な相談を臨床心理士がお受けします。※奇数月は男性心理士、偶数月は女性心理士が対応	第2火曜日 13:00～16:00 面談相談
DV法律相談	DV(パートナー等からの暴力)に関する相談に弁護士がアドバイスします	第2・3木曜日 13:00～16:00 面談相談
男女共同参画に関する法律相談	離婚・親権・バウハラ・セクハラなど男女共同参画に関する相談に弁護士がアドバイスします	第4木曜日 13:00～16:00 面談相談

【熊本市DV相談専用電話】

電話番号	096-328-3322
DV相談	配偶者からの暴力に関する相談を相談員がお受けします
	月曜日～金曜日 8:30～17:15 電話相談

※一般相談は、2019年4月1日より廃止になりました。ご相談は各区役所福祉課でもお受けすることができます。その他、熊本市にお住まいの方は、こころの健康センター、子ども・若者総合相談センターなど、内容等によりご相談先がございます。

※はあもにい総合相談室は、2019年1月に移転しました。



熊本市男女共同参画センター はあもにい HARMONY

〒860-0862 熊本市中央区黒髪 3-3-10
TEL : 096-345-2550
FAX : 096-345-0373
http://www.harmony-mimoza.org/
info@harmony-mimoza.org

【開館時間】
ホール・研修室 / 9:00～21:30
情報資料室 / 9:00～19:00

【休館日】
第2・第4月曜日
(祝日の場合は翌平日・12月29日～翌年1月3日)

※公共交通機関の利用の協力をお願いいたします。
◆熊本電鉄バスをご利用の場合

⇒C1、3乗車で
「男女共同参画センターはあもにい前」下車
⇒C4、5、6、7、9乗車から
「済々黌前」下車

※C1、3のバス停は、はあもにい目の前です。

熊本市男女共同参画センターはあもにいは2020年4月7日に開館30周年を迎えました。また、今号で、はあもにい通信が100号に達しました。皆さまの温かいご支援、ご愛顧の賜と深く感謝申し上げます。

【熊本市男女共同参画センターはあもにい情報紙】 はあもにい通信

※通信はホームページでもご確認ください

2020.10月号 vol.100

発行日 / 2020年9月25日

編集・発行 / 熊本市男女共同参画センター
はあもにい

☎ 096-345-2550

はあもにい講座・催しのご案内

参加には申し込みが必要です。
お子さんをお預かりします。事前予約。

熊本市男女共同参画センターはあもにいは、感染症防止対策を行いながら運営しています。情報資料室は新聞・雑誌の閲覧などは可能ですが、一部制限を継続しています。詳しくはホームページ等をご確認ください。ご利用に際しては、感染症拡大防止にご協力をお願いいたします。

【メインホール・多目的ホール催事予定につきましてはホームページをご確認ください】

30th

2020

はあもにい FESTA

30th Anniversary Festa

30年の歩み つなげよう ‘私らしく生きる、未来へ’

「総合婦人会館・カルチャーセンター」として開館して今年で30年。これまでの歩みを力強く未来につなげるべく、今年も「はあもにいフェスタ」を開催します。

今年度は7日(土)に男女共同参画に関するセミナー、ワークショップ、バザーなどさまざまな市民グループ催事を行います。8日(日)は熊本市・熊本県弁護士会共催で記念講演会を実施します。

11/7(土) 10:00～15:30

市民グループイベント

ワークショップやセミナー、バザーなど、市民グループが企画した多彩な催しを行います。詳しい内容は、フェスタ広報チラシ、ホームページ、Facebookでご確認ください。

男女共同参画クイズラリー

男女共同参画を楽しくクイズで学ぼう! 毎年好評のクイズラリーは、大人も子どももどなたでも参加可能。今年は新しいスタイルで行います。

<お願い>
今年度のはあもにいフェスタは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模を縮小して実施いたします。来館者の方には検温やヘルスチェックシートの記入など、感染症防止対策にご協力をお願いいたします。また状況によっては中止など急な変更等も考えられます。ご理解、ご協力をお願いいたします。

熊本市・熊本県弁護士会・はあもにい共催

はあもにい開館30周年記念講演会

「一人ひとりが輝こう
私らしく あなたらしく」

11/8(日) 14:00～15:30
(13:30開場)

会場 1階メインホール他 料金 無料

講師 住田裕子氏(弁護士)

定員 メインホール150名(会場内聴講)
多目的ホール70名(映写による聴講)
インターネット視聴100名

申込 10月5日(月) 午前9時から19日(月)までに電話、もしくは右の申込フォームにて受付(HPフォーム有)
※参加決定は抽選となります



女性のための法律講座

「知っておきたい法律知識 ～離婚問題～」

離婚問題に詳しい女性弁護士3人が個別の質問や相談にお答えします。(主催:熊本市・熊本県弁護士会)

11/8(日) 10:00～正午 定員 20名 申込 不要(託児は要予約)
会場 2階学習室 料金 無料

相談受付

行政相談

社会福祉のこと、医療保険や年金のこと、役所の手続きのこと…あなたの悩みを行政相談委員に相談しませんか?

10/5(月) 13:00～15:00

会場 1階ロビーまたは応接室 料金 無料

相談員 伊藤一敏さん・吉永伯枝さん
(総務省 行政相談委員)

問合せ 総務省熊本行政評価事務所
☎096-324-1662
☎0570-090110(行政苦情110番)



毎月開催 働き方相談所

就職活動や就業に関する不安、現在の仕事に対する悩みなどに個別に対応します。求人検索も行います(この場では紹介状発行は行いません)。1歳～未就学児の託児あり(10日前までに要予約)。子ども同席可。

10/21(水) 10:00～16:00(1人1時間程度)

会場 1階ロビーまたは応接室

相談員 ハローワーク相談員 料金 無料

申込 電話で随時受付(開館日の9時～19時)

はあもにいの事業や活動をご紹介します

軽快に、穏やかに、女性のカラダや人生の悩みに回答

政策・方針決定の場で自らの考えを発信でき、社会や企業のリーダーとして活躍できる女性人材の発掘と育成を目的とした講座「第7期はあもにウィメンズカレッジ」。10回講座のうちの1回を、一般参加も可能な公開講座として8月29日土曜日に開講しました。

講師は、熊本在住の詩人で早稲田大学教授の伊藤比呂美さんと熊本大学病院産科婦人科准教授の大場隆さん。「妊娠」「出産」「不妊」「更年期」などをテーマに、参加者の質問に答える形でトークセッションをしていただきました。

会場から寄せられた相談や質問は、夫との性生活のこと、認知症の親のこと、子宮頸がんワクチンについてなどさまざま。それぞれに、お二人が具体的に分かりやすく答えてくれました。

参加者からは「なかなか人に聞けない(話せない)ことを聞くことができてよかった」「性の問題は“生(生きること)”の問題だとの思いを改めて再認識しました」「リアルな人生相談で参考になった。二人のコラボが良かった」などの声が寄せられました。



参加者から寄せられた質問に伊藤さん
と大場さんがその場で回答。なかなか
人に聞けない相談できない悩みに対
し、ストレートかつユーモラスな回答
で、会場に笑いが起きることも



アクリル板の設置、参加者の席の指定、人数制限、換気等の感染症対策を行って実施しました



軽快で歯切れのよい伊藤さんと、穏やかに分かりやすい言葉で話す大場さんの絶妙なコンビネーション

第7期ウィメンズカレッジ公開講座
「女の一生。カラダだって、山あり、谷あり」
日時:2020年8月29日(土) 10:00～12:00
場所:2階多目的ホール 参加者数:94人
講師:伊藤比呂美氏(詩人/早稲田大学教授)
大場隆氏(熊本大学大学院生命科学研究部 産科婦人科学講座 准教授)

はじめよう！SOGI(ソジ)ハラのない学校・職場づくり

性の多様性に関するいじめ・ハラスメントをなくすために

「なくそう！SOGIハラ」実行委員会／編 大月書店

「SOGI(ソジ)」とは、性的指向と性自認(Sexual Orientation and Gender Identity)の頭文字をとった略語で、近年国際的に使用されるようになりました。

個人の身体的な特徴や行動、趣味や好みに対して否定的な言動をとる、個人のセクシュアリティを本人の同意なしで周囲に公表する「アウトティング」などが、SOGIに関するハラスメントとして挙げられます。

本書は、多様な性のあり方と見え方をはじめ、教育現場や職場で起こりうる事例、支援方法を紹介。SOGIハラの実例を5つに類型化することで、「居心地が悪いなあ」「もやもやするなあ」と感じた経験が、実はハラスメントであり人権問題であったと認識しやすくなっています。

誰もが前向きに進める社会へ、知識や理解を広げるためにおすすめの一冊です。

情報資料室

おすすめ本

今月のえ・ほ・ん

幼児室より

「あかいしろくま」

人気シリーズの第6弾！
くいしんぼうのしろくまくん。
たべもののなかに はいっちゃった。
いちご、りんご、トマトジュース…
いろいろへんしんする
しろくまくんが
とってもかわいい！
あかいいろがあざやかな
ユーモアたっぷりのえほん。

さく 柴田ケイコ

毎月恒例

よんでよんでの会

幼児室スタッフによるおすすめ絵本の読み聞かせの
ほか、楽しい手遊びやふれあい遊び、紙芝居など！

10月6日(火)11時～(約30分)1階ロビー※予約不要

ミモザリース

館長より

館長 坂本ミオ

「なぜ」を真ん中に

自転車通勤の私は、朝からたくさん
の高校生と一緒にいます。次々と勢
いよく私を追い越してはすぐに引き離
していく高校生の脚力に嫉妬しつつ、
温かな気持ちで湧いてきます。社会へ
の目を少しづつ開いていく高校生の時
間を大事にしてほしいと、その背中を
見ながら思うのです。

思い返せば、高校生のときの自分に
は、「疑問を持つ力」「解決する意思」が
足りなかったとつくづく感じます。

幼い頃の私は「手がかららない、いい
子」と言われていました。親や周りの言
うことを素直に聞き、言われた通りに
する。「どうして？」と思っても、そう言
えば摩擦が起きてしまいそう。それが
怖くて、黙って従う方を選んでいまし
います。

た。そうしているうちに、疑問を持つこ
とと自分をしない思考パターンになった
のかもしれない。

しかし社会に出ると、「見渡せば世の
中は疑問だらけ」。見ぬ振りしてきた疑
問が私の周りにうずたかく積み、向
こう側が見えない。疑問に對し自分
の納得にたどり着く過程を歩ん
でいけば、見えていたはずなのに。

世の中の「当たり前」には納得できな
いこともあります。子どもや若者の「ど
うして？」「なぜ？」には、常識の矛盾を
突く大切なものが潜んでいます。

その「なぜ？」をしっかりと真ん中に
据え、老若男女さまざまな立場の人が
考えを自由に発言できる環境や雰囲気
があることが大事だと思います。そう
であれば、私のような「ビビり」でも疑
問を口にし、考えを伝え、解決への意
思を持つことができそうです。

摩擦ではなく、意見交換。どちらが良
い悪いという話ではなく、疑問の中
にある課題の真実に近づくことをよしと
する社会に向けて、力強くペダルを踏
み、ぐんと前に進んでほしいと願っ
ています。

わたしのギャラリー

展示を希望する市民グループに1階エレベーター前壁面を無料で貸し出す企画「わたしのギャラリー」。9月3日(木)～17日(木)の期間、サンライフ水彩画教室さんの作品が私たちの目を楽しませてくれました。

今後のスケジュールにはまだ空きがあります。作品展示を希望の方は、お早めに担当までご相談ください(営利目的での展示はできません)。

ファミリー・サポート・センター〈熊本〉

コチネウちゃん

子どもを預けたい方と預かりたい方で作られる会員組織です。はあもにいの正面入口から入って右側スペースに事務局があります。

お気軽にお問い合わせください。利用には登録が必要です

月曜日～土曜日
9:00～17:00

☎096-345-3011

「男と女のさん△かく劇場」

画/ブンノ絵巴

お父さん、トラクター運転練習していい？

危ないぞ!!

お前はやらんでいい

男のオレ、ごさえりうっかり横転させてこのざまだ

田んぼの急な坂

なるほど…

お姉さん、何してるの？

バリッフリー

どこで事故ったの？

こんなりで役立つとは…

女だからと建築学科への進学反対して悪かった

見直した？

安全な環境整備も大学で勉強したのよ!

じゃーん スロープ完成!!

これなら誰にも安全じゃない？

こいいう環境整備も大学で勉強したのよ!

学びの力

女子の四年制大学への進学率が10%にも満たなかった50年前に比べると、現在は約50%となり、男女の格差は小さくなってきました。

しかし、理工系分野を選択する女子はまだ少なく、また周囲もそれを期待していない印象があります。

内閣府は昨年、理工系分野を専攻する女子が少ない要因に関して、「周囲の女子の進学動向」「親の意向」「身近なロールモデルの不在」などを指摘しています。

男だから女だから、と性別で得意分野を決めつけずに、個性をしっかりと見極め、学びたい気持ちを大切にすることが重要です。